

体育館前にある句碑をご存じですか？

ドイツのシュタインブリュッケンと旧石橋町をつないだものです。

本校の体育館前に「人と村 同じ名もてり すみれさく」（秋桜子 作）と書かれた句碑があります。この句碑は、1973年に旧石橋町と当時の西ドイツ、シュタインブリュッケンが姉妹都市提携を結ぶ過程で友好の証として建立されたものです。当時、ドイツから町長さんをはじめ多数のご来賓が本校に来てくださり、式典を開いたそうです。このように、この句碑は石橋小だけでなく下野市にとっても、とても歴史的価値が高いものです。しかし、いまして、このことは将来に向けてずっと伝えていかなくてはならないことですが、残念ながら現在は何の表示も注釈もないため、知らない人は何の句碑か分からない状態になっています。そこで、この句碑の説明板を作っていただけないか昨年度から市にお願いしていましたが、この度、下野市国際交流協会が作ってくださることになりました。現在、説明板の原案ができ、立てる場所も決まって、早ければ10月に完成する予定です。子供たちにもこの句碑の意味をしっかりと伝えていきたいと思えます。



この句碑は、獨協医科大学初代学長だった石橋長英博士の寄贈によるものです。石橋博士は、姉妹都市締結にご尽力くださいました。

これと同じ句碑がドイツのシュタインブリュッケン（現ディーツヘルツタール）にも建立されています。

